

2013 年 8 月 27 日

報道関係各位

ソーラーフロンティア株式会社

サウジアラビアのメガソーラー、稼働から 6 カ月の発電実績を公開

～2012 年末に稼働開始、10.5MW をアルミドラ・タワー駐車場屋根で～

【東京—2013 年 8 月 27 日】—ソーラーフロンティア株式会社（社長：玉井裕人、本社：東京都港区台場 2-3-2、以下：ソーラーフロンティア）が CIS 薄膜太陽電池モジュールを納入し、2012 年 12 月から稼働しているアルミドラ・タワー（サウジアラビア王国ダーラン市）の駐車場屋根に設置したメガソーラーの 6 カ月の発電実績が明らかになりましたのでお知らせします。

同メガソーラーでは、CIS 薄膜太陽電池モジュールがアルミドラ・タワーに併設された 4,450 台収容の駐車場（16～18 ヘクタール）の屋根上に設置されています。出力は 10.5MW で、同メガソーラーは稼働後 6 カ月で 8498Mwh の発電量を記録しています。

同市のピーク時の 1 日の平均日射量は、世界で最も多くの太陽光が降り注ぐ地域の一つに数えられます。しかし、猛烈な暑さと砂漠地帯であることにより、同地域に設置するシステムには、太陽電池モジュールを含めて最高レベルの品質と耐久性が求められます。ソーラーフロンティアがサウジアラムコのアルミドラ・タワーに設置した設備はその両面において優れた性能を発揮しており、これまでに高いエネルギー生産量を実現しています。

ソーラーフロンティア取締役副社長執行役員の平野敦彦は、次のように述べています。「現時点において、同施設の発電量は同国内最大を誇っています。この結果をきっかけに、サウジアラビアにおけるソーラーフロンティアの CIS 太陽電池モジュールの性能に対する期待はますます高まっていくでしょう。当社のパネルは高い性能を発揮しており、サウジアラビアに進出した経済的意味はますます大きくなっています。」

ソーラーフロンティアの CIS 薄膜太陽電池モジュールは、温度係数が低いため、高温な環境においても優れた発電性能が発揮できます。多様な環境下でも優れた性能を発揮できる CIS 薄膜太陽電池モジュールの生産を通じて、サウジアラビア王国のようなサンベルト地帯の再生可能エネルギー技術の導入促進に貢献してまいります。

以上

報道関係からの問い合わせ先:

ソーラーフロンティア株式会社 ブランド&コミュニケーション部
中島 TEL: 03-5531-5792

【サウジアラムコ・アルミドラオフィス駐車場】



【ソーラーフロンティア株式会社について】

ソーラーフロンティア株式会社は昭和シェル石油株式会社(5002, T)の100%子会社であり、CIS 薄膜太陽電池の生産・販売を行っています。2011年2月より商業生産を開始した国富工場(年産能力900メガワット)は、CIS 薄膜太陽電池の生産工場として世界最大です。ソーラーフロンティア株式会社が生産・販売するCIS 薄膜太陽電池は、銅、インジウム、セレンを使用して、当社の独自技術で生産する次世代太陽電池であり、経済効率が高く、環境に優しいことが特徴です。太陽電池の設置容量(kW)あたりの実発電量(kWh)が従来型のものに比較して高いだけでなく、原料からリサイクル処理まで高い環境意識で設計・生産されており、その長期信頼性や保証体制に関しては「JETPvm 認証(JIS Q 8901)」などの第3者機関による認証を受けてきました。デザイン面でも、内閣総理大臣表彰「第2回ものづくり日本大賞」で優秀賞(製品・技術開発部門)、財団法人日本産業デザイン振興会が主催する「2007年グッドデザイン賞」では特別賞エコロジーデザイン賞を受賞しています。詳細につきましては[当社ホームページ](#)をご覧ください。当社公式の[ブログ](#)、[Facebook](#)、[Twitter](#)でも太陽光発電に関する最新情報などを随時発信しています。

報道関係からの問い合わせ先:

ソーラーフロンティア株式会社 ブランド&コミュニケーション部
中島 TEL: 03-5531-5792